



みどり
水土里ネット

No.37

広報はとまがわ

H24. 12. 1 現在

地区面積

56,518,940㎡

組合員数

3,707名



木枯らし吹きすさぶころ

遠くに栗駒山、長沼水門、長沼漕艇場の長沼フートピア公園

H24. 12. 1 発行

迫川沿岸土地改良区総務課

TEL 0220 (58) 2024(代)

FAX 0220 (58) 2784

URL <http://www.hakuendo.dyndns.org>

E-mail hasama.r@s5.dion.ne.jp

平成二十四年第一回臨時総代会開催

提出議案十二件原案可決



挨拶を述べる上野理事長

去る八月八日登米市南方農村環境改善センターに於いて、平成二十四年第一回臨時総代会が総代七十六名の出席を得て開催されました。

まず、上野理事長が平成

二十四年第一回臨時総代会を招集したところ、盆の月に入り大変お忙しい中多数の方の御出席を賜り厚く御礼を申し上げますと共に常日頃よりご理解ご協力を賜りますことに対しましても心より感謝をいたすところでです。

本日は当土地改良区の事業運営に多大なるご指導をいただいております宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所の小山副所長さん並びに登米市産業経済部真山部長さんに御出でいただきまして総代会に花を添えていただきますことに改めて御礼申し上げます。

さて、昨年の東日本大震災から一年五ヶ月を経過いたしました、まだまだ生々しい傷跡を残している場所も見受けられ、

一日も早い復旧が望まれるところです。

当管内に於いても被災総額が約三億円に上りましたが、宮城県には事業主体変更等の支援を受け補助率増高で九二・七%、当土地改良区では八一・八%という大きな補助を受けることとなつたほか、小規模農地等復旧支援事業の導入により組合員の負担軽減が図られました。

また、登米市に於かれましては基幹水利施設管理事業並びに操作管理事業により多大なる支援を受けております中、去る六月二十五日には登米市議会産業常任委員会より七名の議員の方々と事務局合わせ総勢十四名が視察に訪れ、当土地改良区の経費節減に向けた現状の把握及

び基幹水利事業等に関する意見交換を実施したところでです。これは私が就任後初めての試みであり、良い機会と考え排水機場に流入するゴミ処理にかかる経費の助成並びに市道と用排水路の再接続と補修に関しても要望するなど、互いに大変有意義な時間だったことを報告いたします。

昨年の用水開始が被災により例年より二週間ほど遅れ五月十日となりましたが、その後の天候にも恵まれ稲の生育状況は順調で、収穫時には大豊作になりましたことも喜ばしいことでしたが、今年も昨年同様豊作になりますよう願っているところであります。最後に、本日提案しております

す第一号議案から第十二号議案まで慎重審議の上、原案のとおり決定していただきますようお願い申し上げます。」と挨拶を述べました。

その後、宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所小山副所長さんと登米市産業経済部真山部長さんから挨拶を頂戴し、議長に高橋照夫総代が選出され、平成二十三年会計決算を主とした提出議案十二件を審議し、全議案とも原案のとおり可決され午前十一時四十五分閉会しました。

議決事項

- ▼第一号議案 平成二十三年度事業報告の承認について
- ▼第二号議案 平成二十三年度財産目録の承認について
- ▼第三号議案 平成二十三年度一般会計歳入歳出決算承認について
- ▼第四号議案 平成二十三年度特別会計（県営・県ほ事業）償還金歳入歳出決算承認につ

いて

▼第五号議案 平成二十三年度特別会計（蕨栗沼遊水地事業地役権補償費）積立金歳入歳出決算承認について

▼第六号議案 平成二十三年度特別会計（職員退職給与・財政調整・農地転用決済金）積立金歳入歳出決算承認について

▼第七号議案 平成二十三年度特別会計（担い手育成支援事業）歳入歳出決算承認につ

平成二十三年度

決算監査報告

（総括監事）

▼第八号議案 平成二十四年度一般会計歳入歳出補正予算議決について

▼第九号議案 平成二十四年度特別会計（県営・県ほ事業）償還金歳入歳出補正予算議決について

▼第十号議案 平成二十四年度特別会計（蕨栗沼遊水地事業地役権補償費）積立金歳入歳出補正予算議決につ

▼第十一号議案 平成二十四年度特別会計（職員退職給与・財政調整・農地転用決済金）積立金歳入歳出補正予算議決について

▼第十二号議案 平成二十四年度特別会計（担い手育成支援事業）歳入歳出補正予算議決について



真山部長さん

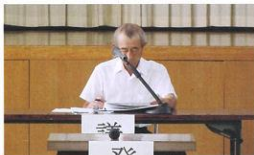


小山副所長さん

総代会に際し挨拶を述べる



質問を行う青田総代



議長に選出された高橋総代

平成23年度 一般会計決算

◆歳 入 968,385,972円

項 目	決 算 額	率 (%)	主 な 内 訳
組 合 費	586,543,205	60.6	平成23年度賦課金
各種事業補助金	81,630,194	8.4	災害復旧、小規模復旧支援、炭素貯留実験等補助金
繰 越 金	64,015,412	6.6	前年度よりの繰越金
繰 入 金	80,618,706	8.3	特別会計よりの繰入金
交 付 金	81,926,500	8.5	管理体制整備事業交付金、派遣職員交付金
委 託 管 理 費	43,910,150	4.5	基幹水利施設管理事業費、委託管理費
機 場 受 託 費	9,263,000	1.0	飯屋、大洞機場管理受託料
諸収入・過年度収入	9,978,805	1.0	用水使用料・預金利息、官舎補修積立金、未収賦課金
借 入 金	10,500,000	1.1	戦略作物生産拡大基盤整備事業借入金

◆歳 出 825,050,478円

差異残金 143,335,494円(翌年度へ繰越)

項 目	決 算 額	率 (%)	主 な 内 訳
事 務 費	156,182,435	19.0	報酬・給料・諸手当・事務所管理等事務費
管 理 費	243,416,378	29.5	委託管理費、機場電力費、水路費、機場修理費等
繰 出 金	192,580,700	23.3	特別会計償還金、退職給与、財政調整へ繰り出し
災害復旧事業費	68,288,000	8.3	災害復旧事業費
諸 事 業 費	53,455,832	6.5	適正化・システム・機能診断・炭素貯留等事業費
基幹水利施設事業費	42,356,150	5.1	基幹水利施設管理事業費
諸 支 出 金	26,834,144	3.3	各種団体負担金、厚生福利費、広報、自動車維持費等
交付金・会議費	11,669,639	1.4	総代会・役員会・委員会等の会議費・完納奨励金
操 作 管 理 費	9,263,000	1.1	飯屋・大洞機場操作管理費
戦略作物生産拡大	21,004,200	2.5	平貝地区暗渠排水工事
予 備 費	0	0	

● 平成23年度 特別会計県営・県ぼ事業償還金決算 ●

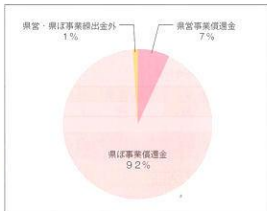
◆歳 入 207,531,403円

項 目	決 算 額
県 営 繰 入 金	13,101,200
県 営 繰 越 金	2,878,823
県 ぼ 繰 入 金	171,335,875
県 ぼ 繰 越 金	10,455,271
借 入 金	6,440,000
過 年 度 収 入	3,320,234



◆歳 出 189,873,691円

項 目	決 算 額
県 営 事 業 償 還 金	13,011,822
県 ぼ 事 業 償 還 金	174,564,569
県営・県ぼ事業繰出金外	2,297,300



差引残金 17,657,712円(翌年度へ繰越)

特 別 会 計 決 算 状 況 平 成 23 年 度

蕨栗沼遊水地事業地役権補償費 積立金

歳 入 97,459,046円 歳 出 0円 差引残金 97,459,046円(翌年度へ繰越)

職員退職給与・財政調整・農地転用決済金 積立金

歳 入 747,021,002円 歳 出 81,344,000円 差引残金 665,677,002円(翌年度へ繰越)

担い手育成支援事業

歳 入 7,845,391円 歳 出 4,060,000円 差引残金 3,785,391円(翌年度へ繰越)

平成23年度 事業報告

第1 地区及び組合員の状況

1 総地積

地区名	前年度末	本年度末	比較	付記
事務費	56,550,861㎡	56,516,446㎡	△ 34,415㎡	

2 組合員数

区分	前年度末	本年度末	比較	付記
組合員数	3,741人	3,690人	△ 51人	

第2 事業の状況

1 施設の維持管理状況

(1) 用排水機場の数 122機場プラス中央管理所

地区別	第1地区	第2地区	排水地区	沼崎地区	内浦地区	米山地区	その他
受益面積(㎡)	23,313,820	9,569,519	29,154,994	502,049	886,520	21,360,799	
機場数	48	26	16	3	2	20	8

2 維持管理工事の状況

通常本工事の施行にあたっては、維持管理事業計画に基づき組合員からの工事箇所申請を工事委員会が審議し、工事委員及び部落連絡委員並びに職員による現場調査の上工事を実施しており、本年も同様に準備していた。しかし、東日本大震災により当初計画を変更せざるを得なくなり、施設の復旧を第1に考え、応急本工事、応急仮工事と維持管理工事と併せて施行した。その後、災害復旧事業申請を行い補助率増高を経て、土地改良区発注分81.8%に、事業主体変更による宮城県発注分は92.72%の補助が決定された。また、宮城県が支援する小規模農地等復旧支援事業申請を行い、ほぼ申請通り129地区が認定され18,620,000円の支援を受けた。

なお、慣行的な水路浚渫・灌漑等の実施については、関係部落毎に委託または業者請けをもって実施した。その内訳として、用排水路等の維持管理工事が請負工事で184件施行77,934,336円(小規模農地等復旧事業に認定された工事費55,348,882円を含む。)慣行による浚渫・灌漑、その他資材費等を合わせ水路費で94,579,209円の執行になった。

第3 事務の経過

1 本年度中の主な行事

会議名	総代会	理事会	監事会	総務委員会	工事委員会他
回数	2回	10回	10回	2回	5回

資産と負債のあらまし

流動資産 127,166,301円

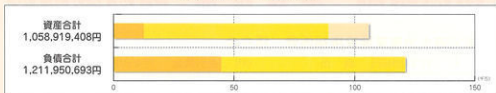
- 一般会計預金…93,335,494円
- 特別会計預金…21,443,103円
- 未収入金…12,387,704円

特定資産 764,666,048円

- 退職・財政・決済金積立金…665,677,002円
- 農業沼遊水地事業地役権補償費…97,459,046円
- 基金・出資金…1,530,000円

固定資産 167,087,059円

- 土地…15,488,832円
- 建物…128,353,571円
- 機械…2,210,000円
- 備品…21,034,656円



長期負債 448,814,645円

- 日本政策金融公庫…201,506,855円
- みやぎ登米農協…247,307,790円

短期負債 763,136,048円

- 退職給付積立金…236,429,974円
- 財政調整積立金…376,941,919円
- 決済金積立金…52,305,109円
- 農業沼遊水地事業地役権補償費…97,459,046円

平成23年度 農地等災害復旧事業実績

31地区 78,059,100円

No	工 事 名	工 事 内 容	請負契約額	請負業者名
1	西館幹線用水路1災害復旧工事	目地補修(Vシート)	3,111,150	宮 田 建 設 ㈱
2	西館幹線用水路2災害復旧工事	管継手部補修(内面バンド)	2,100,000	南 九 徳 伊 藤 建 設
3	天形支線用水路災害復旧工事	送水管(塩ビ管)設置[仮工事]	3,622,500	宮 田 建 設 ㈱
4	天形支線用水路2災害復旧工事	送水管(塩ビ管)修設[本工事]	4,830,000	宮 田 建 設 ㈱
5	穴山幹線用水路1災害復旧工事	目地補修(Vシート)	619,500	南 佐 々 木 土 建
6	穴山幹線用水路3災害復旧工事	目地補修(Vシート)	304,500	南 佐 々 木 土 建
7	穴山幹線用水路2災害復旧工事	目地補修(Vシート)	1,753,500	南 佐 々 木 土 建
8	穴山幹線用水路4災害復旧工事	目地補修(Vシート)	1,995,000	南 佐 々 木 土 建
9	米岡用水路災害復旧工事	目地補修(Vシート)	493,500	小 西 工 務 店
10	米岡用水路2災害復旧工事	目地補修(Vシート)	1,365,000	小 西 工 務 店
11	米岡用水路東災害復旧工事	目地補修(Vシート)	535,500	小 西 工 務 店
12	米岡用水路西災害復旧工事	目地補修(Vシート)	479,850	小 西 工 務 店
13	城内地区ドレーン工事	農道盲暗渠	309,750	後 藤 建 設 ㈱
14	城内地区パイプライン災害復旧工事	支管補修(ドレッサージョイント)	6,166,650	柳 協 栄 産 業
15	新西千貫支線用水路災害復旧工事	ベンチフリューム800型布設替	1,004,850	南 鈴 木 土 建
16	千貫用水路災害復旧工事	管継手部補修(内面バンド)	1,050,000	中川ヒューム管工業㈱
17	西千貫小用水路108号災害復旧工事	U字フリューム300型布設替	866,250	柳 浅 野 工 務 店
18	西千貫小用水路109号災害復旧工事	U字フリューム350型布設替	894,600	柳 浅 野 工 務 店
19	南方幹線用水路災害復旧工事	管継手部補修(内面バンド)	5,250,000	中川ヒューム管工業㈱
20	砥落用水路(1)災害復旧工事	目地補修(Vシート)	1,825,950	南 千 葉 土 木
21	砥落用水路(3)災害復旧工事	目地補修(Vシート)	567,000	南 千 葉 土 木
22	砥落用水路(2)災害復旧工事	目地補修(Vシート)	945,000	南 佐 々 木 土 建
23	南方用水路災害復旧工事	目地補修(Vシート)	867,300	宮 田 建 設 ㈱
24	本郷用水路災害復旧工事	目地補修(Vシート)	516,600	南 鈴 哲 土 建
25	青島用水路災害復旧工事	管水路800型補修(Yジョイント)	2,019,150	南 鈴 木 土 建
26	船越支線用水路災害復旧工事	管水路500型補修(Yジョイント)	1,209,600	南 菅 原 興 業
27	舟入用水路災害復旧工事	目地補修(Vシート)	851,550	宮 田 建 設 ㈱
28	舟入用水路(2)災害復旧工事	目地補修(Vシート)	206,850	南 旭 組
29	大畑排水路災害復旧工事	護岸補修(連結ブロック)	10,290,000	宮 田 建 設 ㈱
30	新沢浦支線排水路災害復旧工事	護岸補修(連結ブロック)	8,505,000	南 菅 原 興 業
31	瀬々崎排水路災害復旧工事	護岸補修(連結ブロック)	13,503,000	南 渡 光 工 務 店

復 旧 工 法



用水路目地補修
(Vシート工法)



管水路補修
(HP新設・Yジョイント接続)



排水路護岸補修
(連結平板ブロック)

21世紀土地改良区創造運動活動報告

当土地改良区では、子どもたちを中心とした地域住民と農家との交流による地域づくりを推進し、農業・農村の持つ多面的機能やそれらを支える農業水利施設及び土地改良区の役割や重要性について情報発信を行い、理解と協力を得るため21世紀土地改良区創造運動を積極的に展開しています。

●身近な水辺「長沼」の環境を学ぶ●

登米市立北方小学校5年生（児童32名）の総合学習で、身近な水辺環境の現状を知ってもらおうと、農業用水の水源地である「長沼」の水質調査を行いました。

春と夏の2回実施し、季節を過ぎて変化する沼の様子を見ながら水質を調査しました。

《水質調査》

- ・ pH（水素イオン濃度：水溶液の性質を表す単位）
- ・ COD（化学的酸素要求量：水の汚れを判断する目安）

○5月30日 測定結果	pH 7.0（中性）	COD 20 mg/L
○8月29日 測定結果	pH 7.0（中性）	COD 10 mg/L

※ 農業用水の水質基準（水稻）
pH 6.0～7.5 弱酸性～弱アルカリ性
COD 6 mg/L以下

体験活動の様子



《出前講座》

「ふるさとの田んぼと水」と題して、出前講座を実施。身近にある田んぼの水はどこから、どのようにして流れて来るのか？

まずは、アイスブレイクゲーム（子供達との打ち解け合い）を行ってから講座に入り、田んぼの水の水源地や農業水利施設の役割、多面的機能について知ってもらいました。



農業水利施設見学

土地改良区の役割や重要性及び農業水利施設が持つ多面的機能の啓発を目的に、管内小学校児童と地域住民による農業水利施設の見学会を行いました。中央管理所から遠方操作で除塵機を起動させそれを大型モニターで確認したり、揚水機場では手動によるポンプの起動体験も行いました。

《南方町山成子供会・登米市立北方小学校5年生 見学施設：中央管理所、高石揚水機場》



施設の機能維持保全と農村景観形成活動

《今年の穴山幹線用水路壁画の作品です》

7月28日

南方町山成子供会

36人 L=6.0m



9月22日

米山町八軒小路子供会

21人 L=6.0m



10月7日

南方小学校2年生

6人 L=7.5m



10月21日

米山Jrバスケットボールクラブ

26人 L=7.5m



※この他、米山町の個人の方が実施しました。

農業体質強化基盤整備促進事業（暗渠排水）

昭和50年前半、県営大規模は場整備事業により施行された本地区の暗渠排水については、耐用年数（30年）が過ぎ、老朽化や疎水材（モミガラ）の腐蝕が進み暗渠排水の効力が低下しています。

当時の工法は、集水排水（シングル・ダブル配管）方式で水田3枚毎に水閘が設置されており、3枚同時の水管理でした。また、吸水渠の間隔は10m間隔（30a当たり3本）で、管理設深は平均1.0m程でした。本事業導入により、農業生産及び農業経営の向上を図るため、集水排水方式の水田1枚ごとに水閘を設置し水管理をおこなう工法としました。吸水渠の埋設は平均60cmの浅埋とし、現場透水係数測定により7.5m間隔（30a当たり4本）の配管となりました。また、今回設置する水閘は水位制御型で、非かんがい期は地下水位の調整により疎水材（モミガラ）の腐蝕を抑止することができ、暗渠排水効力を持続することができます。

将来的には、用水路と結合して自然圧で給水する用水利用型と排水路をせき上げて背水圧を利用しかんがいの排水利用型の地下かんがい施設に移行し、水田の畑利用における土壌水分制御が可能となります。

【暗渠排水断面図】



《工事発注状況》

平成23年度	追川沿岸1地区（体質強化）-001号	船越工区暗渠排水工事	A = 148.55 ha
		請負者：社団法人 宮城県農業公社	
平成23年度	追川沿岸1地区（体質強化）-002号	天形工区暗渠排水工事	A = 86.76 ha
		請負者：株式会社 協栄産業	
平成23年度	追川沿岸1地区（体質強化）-003号	西野西部工区暗渠排水工事	A = 185.98 ha
		請負者：宮田建設 株式会社	

農業体質強化基盤整備促進事業（パイプライン）

区 分	定率助成	事業費	20,000,000円
事業種類	農業用排水路施設	工事期間	平成24年度（H25.3）
工事内容	小用水路パイプライン化	補助率	事業費の1/2

《工事発注状況》

平成24年度	追川沿岸2地区（体質強化）-201号	上谷地工区パイプライン測量設計業務	
		請負者：株式会社 北水コンサルタンツ	
平成24年度	追川沿岸2地区（体質強化）-001号	上谷地工区パイプライン工事	L = 1194.7m
		請負者：有限会社 渡光工務店	

【標準断面図】

小用36号

小用37号



上野理事長 秋の叙勲に輝く



当土地改良区上野野通理事長は、長年農業を営むかたわら昭和62年当土地改良区前身の登米郡南方追土地改良区理事に就任、平成3年からは副理事長を務め、

関係地区の登米郡南方追土地改良区、登米郡米山町土地改良区、旧追川沿岸土地改良区の3土地改良区の合併に尽力され、平成6年、念願の追川沿岸土地改良区が設立され、平成10年から副理事長、さらに平成14年からは理事長として、地域のため土地改良事業を推進し、農業の発展に多大な貢献をされ、この功績が認められ、旭日双光章を受章しました。今後も全ては農家住民のため力を注ぎたいと話しておりました。

“追川” 河川改修80周年記念



追川河川改修事業着手80周年を迎えるにあたり、追川の洪水や治水対策の歴史、流域の豊かな自然環境が有する魅力、今後の河川管理のあり方等について地域の方々と共有するとともに、追川を通じた人と人との絆や地域のつながりを再考し、未来に向けて新たな歴史を刻んでいくために、去る11月16日に栗原市若柳総合文化センターにおいて記念行事が開催されました。

公益社団法人日本河川協会理事 青山俊樹氏「河川改修の歴史と川の魅力について」並びに宮城県土木部長 橋本潔氏「追川流域の魅力を未来へ」の基調講演があり、後半では「過去から未来へ、人と人、地域と地域を繋ぐ追川」と題してシンポジウムが行われ、パネリストとして当土地改良区理事長が出席しました。コーディネーターからの問いに対して、生活の基盤である追川へのこれまでの関わりや思い、また土地改良区の役割・使命等について述べられました。

事業地区別償還金残額調査

平成24年度末

(単位：円)

地区名	県営 は場整備	県営 かんばい	平準化 事業	団体営 事業	10a 当 残 金	最 終 償還年度
県は第1地区	千貫 千貫区 248,164		1,164,400		820	H.26(H.27)
	野谷地区 102,393		255,600		1,503	H.25(H.27)
	畑 岡 分 区 1,480,373				1,945	H.26
	一の曲分 区 1,387,768		26,020,000		35,967	H.25(H.34)
第 2 地 区	6,588,917				1,589	H.25
第 4 地 区	2,084,629				960	H.26
第 6 地 区			52,230,000		14,348	H.24(H.31)
第 1 0 地 区	9,700,882				2,827	H.27(H.24)
第 1 1 地 区	2,452,781		24,790,000		23,896	H.29(H.32)
第 1 3 地 区	14,356,148				13,897	H.26
長沼地区	町 新 田 区 3,285,921				21,905	H.32
	地 新 田 区 2,964,429				19,374	H.32
北 浦 地 区	15,948,687				29,534	H.33
追 泥 内 区	22,502,305				47,775	H.34
南部地区	土 手 ノ 内 区 8,566,146				33,991	H.34
	茂 伝 治 区 1,617,327				23,439	H.34
野 谷 地 地 区	53,487,974				25,242	H.36
城 沼 地 区	12,700,597				17,047	H.37
添 沼 地 区				6,256,389	24,925	H.30
平 貝 地 区				9,450,000	51,359	H.33

※償還残金には、利息が含まれない金額となります。() は、平準化事業の最終償還年度

役員研修開催

災害復旧・復興状況視察研修

去る8月23、24日の一泊二日で役員研修が開催されました。この研修には登米地域事務所農業農村整備部後藤次長さんに講師として随行をお願いし、南三陸在郷地区と災害廃棄物南三陸処理区の建設状況を視察し、その後、石巻大川地区で北上川沿岸土地改良区高橋理事長さんに、亶理町荒浜、山元町では亶理土地改良区の三品理事長さんにそれぞれの被災状況と復興について説明を受けました。大川地区については、経営体育成基盤整備事業で面工事が完了し、その年初めて植え付けしようとする矢先に、あの津波で海水が入り一瞬のうちに農地が流失し、一面海と化してしまったそうです。また、亶理土地改良区では、塩害や農業用施設の機能停止や堤防の破損等による作付け自粛等で管内の約70%以上に当たる農地が作付け不能になったとのことでした。早期に復旧、復興することをお祈りするとともに、この研修を快くお受け下さいました。後藤次長さん、高橋理事長さん、三品理事長さんをはじめ職員の皆様には心より御礼申し上げます。



農地が一瞬の内に海に.....



高橋理事長さん(右手前)



完成間近の廃棄物処理場



津波で破壊された排水場



三品理事長さん(中央)



熱心に説明を聞く役員さん達

農業用、公共用地買収、交換、名義変更等は土地改良区に届出がなければ台帳の修正が出来ず、毎年発行されている賦課通知書で耕作面積を確認して下さい。もし、疑義が生じたときは、お問い合わせ下さい。

届出が必要ですよ

滞納金は新しい組合員が
農地の売買で、土地改良区賦課金の滞納がある土地を購入すると、その滞納金は、その土地を購入した人が支払うことと法律(土地改良法)で規定されています。
農地を購入される場合には、事前に滞納金の有無を確認の上、売買・貸借契約をされますようご注意ください。

お願い

**追川沿岸
土地改良区
理事長表彰**

永年に亘り機械機開手としてまた水路監視人として、かんがい用水の供給と排水施設管理に尽力を頂いた功績により、次の方へ感謝状を贈呈したので紹介します。

山田 亮(追町)

人事往來

部務連絡委員

佐藤 喜男(千手ノ内)
丹野 敏彦(立戸)

職員

(平成二十四年八月三十一日付)
星 文昭(総務課長)

昭和四十九年登米郡市町村土地改良区に合併、以来三十八年間土地改良事業推進と運営健全化に尽力されました。
長い間大変御苦労様でした。

(平成二十四年九月一日付)

総務課長

田中 淳

(総務課参事兼庶務係長)

総務課参事兼庶務係長

佐藤 正宏(事業課参事)

おくやみ

総代で工事委員の佐藤良規氏が平成二十四年十一月十七日ご逝去されました。

生前土地改良区運営並びに土地改良事業の推進に尽力賜りましたことに深く感謝を申し上げます。謹んでご冥福をお祈り致します。